

令和7年度 丹生川中学校 学校経営全体構想(案)

【学校課題・願い】

- 安全・安心な校風づくり
- 主体的に学び、考え、行動できる
- 自分の思いを表出し、学力向上に向け、一人一人が努力できる
- 人の思いを受け止め、つながり、認め合い、支え合う力の向上
- いじめ・不登校の未然防止と対応、教育相談の組織対応
- ふるさと丹生川に誇りと愛着がもてる生徒の育成

高山市小中学校教育

【教育の方針】

未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成

【教育の重点】

自分らしく1歩踏み出しのり越え 挑戦し続ける

【学校教育目標】

自 ら ・ 共 に

【育てたい資質・能力】

主体的に考え行動する力 ・ つながり認め合い支え合う力

【重点】 力をつける教科指導・心を育てる生徒指導

主体性 → 自己選択・自己決定の場 , 挑戦 , 相互承認(対話)

	「自ら」を育てるために	「共に」を育てるために
	学ぶ楽しさや喜びを味わい、「できた・分かった」と実感できる授業づくり 前を向きっぱなしの画一的な授業からの脱却～子どもが主役・教師のコーディネート力の向上～	
学 習	・わからない・できない・間違いを出せる授業づくり ・自分の考え(理由根拠)をもち、表出させる授業づくり ・指導と評価の一体化(自己評価と自己調整) ・特別支援教育体制の充実	・わからない・できない・間違いを学び合う授業づくり ・自分と違う意見を取り入れる授業づくり ・意図のある対話・議論の場の設定 ・ICTの効果的な利活用
生 活	安全・安心を基盤とし、自己指導能力を育む居場所づくり・絆づくり ～いじめ・不登校の未然防止と対応、教育相談の組織対応～	
	・「なりたい自分」の実現に向け、何度でも挑戦できるよう支援し、見届ける ・「自ら」「一人でも」を行動する姿の認め ・仲間の姿を変える呼びかけのある委員会活動 ・仲間に厳しい指摘ができるリーダー指導 ・独りぼっちに関わるようにしていく指導 ・SNSや睡眠を自己管理できる指導 ・掃除時間以外でも校舎を自ら美しくする指導	・仲間の「なりたい自分」を大切に、互いに認め合う活動を通して、自己肯定感・自己有用感を育む ・『一人で』と『共に』行動の違いを定着させる指導 ・仲間の呼びかけを、姿で返す集団づくり ・仲間の厳しい指摘を支える集団づくり ・誰とでもグループを作れる集団づくり ・人を大切にしない言動を許さない姿勢と指導 ・魅力ある活動の創造(本物、直接体験、異学年交流)

地 域 と の 協 働 ・ 連 携 等	多様な人とながら、関わる力の向上と心の教育の充実 郷土学習「にゅうかわ学」「1年:丹生川の自然・歴史」「2年:丹生川の産業」「3年:丹生川のまちづくり」 ○「将来、自分が丹生川のために何ができるか」を考える学習活動 ○國學院大学との協働研究の推進、環境省との連携 ○発信活動(1・2年:魅力発信CM・3年:まちづくり提言プレゼン) プレゼン教育の推進(相手意識をもった話し方・伝え方) 家庭・PTA・地域との連携「学校運営協議会」「すくなく子連携協議会」「支所会議」「まち協」
--	---

【指導の共通理解】課題、具体的指導の共有(管理職会・担当者会・合同全校研究会・小中兼務・PTA組織)

- ① 子ども・学校・家庭のせいにしない(成長する職員と保護者で在り続ける)
- ② 子どもに軸足を置く(願うのは子どもの成長と幸せ、個々の自立を支援する)
- ③ 「働きやすさ」と「働きがい」のある職場(健康第一・同僚性・ウェルビーイング)
 - ◇ 子ども(個)に向き合う(見届け、価値付け、意味指導)
 - ◇ 全職員で全生徒を育てる(認めるべき瞬間、正すべき瞬間を逃さない)
 - ◇ 目の前の課題を組織で解決する(報連相と初期対応。即日複数対応を原則)